

平成29年6月21日

浜田市議会議長 西田清久様

議員名 芦谷英夫



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1、日時 平成29年6月5日（月）～7日（水）
- 2、研修内容 東京農業大学オホーツクキャンパス・網走刑務所ほか  
行政視察
- 3、研修先 北海道網走市ほか
- 4、調査経費 浜田市⇒広島空港⇒羽田空港⇒女満別空港⇒  
網走市内など視察⇒女満別空港⇒羽田空港⇒  
広島空港⇒浜田市（自家用車・飛行機・タクシー）  
入館料・自家用車・ガソリン代・高速代・駐車場代など  
6,841円  
航空運賃 65,800円  
計 72,641円
- 5、調査研究活動の概要  
別紙報告書のとおり



## 「東京農業大学オホーツクキャンパス・網走刑務所ほか行政視察」

平成29年6月21日

- 1 日 時 平成29年6月5日（月）～7日（水）
- 2 視 察 先 東京農業大学オホーツクキャンパス・網走市立郷土博物館・網走市立モヨロ貝塚館・オホーツク流氷館・北海道立北方民族博物館・網走刑務所・博物館網走監獄・大鵬相撲記念館
- 3 参 加 者 浜田市議会会派「未来」岡本正友・野藤薫、「創風会」上野茂、「超党はまだ」牛尾昭・江角敏和・小川稔宏・岡野克俊・芦谷英夫 計8名

### 4 概 要

- ① 東京農業大学オホーツクキャンパスでは6次産業化の先進的な取り組みをしており、ものづくりビジネスを進め、じゃがいも、小麦、玉ねぎ、野菜、農産物、畜産物、魚介類などを使って、生産から加工、販売までを創造し、新商品の開発なども積極的に手掛けており、そのような人材育成を進めている。
- ② 網走市立郷土博物館は、昭和11年につくられたもので、森と海の自然、網走の歴史などが展示してあり、歴史のある博物館で網走市の歴史や民俗などふるさと教育に対する能動的な姿勢を感じさせる。
- ③ モヨロ貝塚館は、大正年間に発見された貝塚からオホーツク文化を発見したもので、古代オホーツク人の北海に生きる海洋狩猟民の文化や生活などを紹介している。
- ④ オホーツク流氷館は、流氷の接岸を一望できる天都山の頂上に建設されており、流氷の成り立ち、神秘なところなどの説明があり、マイナス15度の部屋での流氷に触れることもできる。
- ⑤ 北海道立北方民族博物館は、北方民族の広がり、その食、海の狩人、生業、生活、文化などが展示してありますが、オホーツク文化は5世紀に北海沿岸に形成され11世紀に忽然と姿を消したとされ、オホーツク文化が消滅したのは、アイヌ人アイヌ文化などと融和したのではと自身は推測する。
- ⑥ 網走刑務所は、あの有名な「網走番外地」にまつわるところで、島根あさひ社会復帰促進センターとの縁で、入所者の社会復帰、地元自治体や地域、市民とのかかわりなどについて話を伺った。網走刑務所の古い建物を移転したのが「博物館 網走監獄」で、映画網走番外地シリーズの撮影も行われたところである。弟子屈町にある大鵬相撲記念館には、昭和の名横綱「大鵬」の栄光の数々が展示してある。

### 5 所 見

- ① 網走市は人口3万8千人でこれだけの施設があり多くの観光客などを受け入れており、浜田市では開府400年を迎え歴史資料館などの整備は必要であり、県西部の中心都市としてのシンボルとしても必要である。
- ② 浜田市は県西部の中心都市、県立大学、特定第3種漁港、特定重要港湾などの特性を前面に出した施策の構築とその推進が必要である。
- ③ 網走市などは多くの観光客を迎えているが、流氷のガリンコ号と博物館、未来農業の東京農大、北海道の歴史と北方民族の歴史、網走番外地シリーズの監獄などテーマ性を持つ施設が整備してあり、浜田市の特性を打ち出した施策や施設整備などが必要である。
- ④ 浜田市は、国際平和都市広島市、松江城や出雲大社など県東部、石見銀山、萩・津和野などと広域観光を推進する必要がある、高速道路・萩石見空港・JR線などをネットワークする観光ルートが必要である。